

ジュニア賞

図形探しゲーム

吉田 花梨 (高校3年生: 神奈川県)

近年日本では子どもの理科や数学への興味・関心が薄れている。これは科学者になりたい人や理系の仕事に就きたい人を減らしてしまうことに繋がり、将来の日本の科学技術の発展を妨げるだけでなく、国力の衰退を招きかねない。このような子どもたちの理数離れを解消するのが、この図形探しゲームである。

このゲームは自然界にあるヒトデや雪の結晶などの図形を探し、スマートフォンで画像を撮りそれを本部に送るとポイントがもらえるというものである。もらえるポイントは図形によって異なり、レアなものや意外性のあるものだと高得点を得ることができる。採点は本部にいる図形の専門家である幾何学の専門家が行う。また、送った図形は全国のユーザーに公開され、ユーザーはそれらを自由に見て、面白い・興味深いと思ったものには「はなまる」を送り投票することができる。そのようにして獲得した「はなまる」の数もポイントに加算される。そしてそれらの集めたポイントが高い順に毎週ランキングがつけられ、その月に一番ポイントを稼いだ人と一番ポイントの高い図形を探した人は数学の専門家から表彰され、「図形探しの達人」の称号が与えられるという仕組みである。

このゲームは宝探しのような感覚で楽しくプレイすることができる。これにより小学生や中学生などの子どもたちが図形に関心を持つことができ、高校や大学で学ぶ幾何学に親しみを持つきっかけとなる。またそれだけでなく図形を探すことで今まで目を向けていなかった自然に関心を持つようになる。さらに、子どもが理数に触れるきっかけとなり、子どもの理数に対しての苦手意識をなくすことを助け、取り組みにくさを和らげる。

この図形探しゲームが子どもたちの理数への興味・関心を掻き立てることで理系の仕事に就く人を増やし、将来の日本の科学力を支える宝となることを願っている。